

挨拶要旨

平成25年4月11日

幌延深地層研究センター所長 清水和彦

- 4月1日付けで幌延深地層研究センター所長に就任した。微力ながら最善を尽くしたい。本日は、平成25年度の調査研究計画について説明させていただく。
- 当センターでは、平成23年の2月から民間資金を活用したPFI方式により坑道の整備を継続中。
- 昨年度は、3本目の立坑である西立坑を深さ約300mまで掘り下げるとともに、深さ350mの水平坑道を総延長距離にして約400m掘り進んだ。
- 本年度は、深さ350mの水平坑道(総延長距離 約750m)を完成し、その水平坑道と地表とを3本の立坑で連結する予定。
- あわせて、坑道を安全確実に整備していくための技術や出来あがった坑道を使って岩盤や地下水の性質を調査していくための技術などを適用して、その信頼性を確認していく。今後は、深地層中における人工材料の性能を評価するための技術の開発にも重点をおいていく。
- この2月に、深さ350mの水平坑道で、メタンガス濃度および湧水の一時的な増加が発生し、皆さまにご心配をおかけした。これらの現象に対しては、当初より想定していた対策を講じることにより、適切に対処できた。
- ただし、情報公開の方法については、皆さまの関心の大きさに対して十分でなかったことを反省し、ルールの見直し、改善を図ったところ。
- 幌延深地層研究計画は、幌延町をはじめとする地域の皆さまのご理解とご協力なくして進めることはできない。今後とも、三者協定を遵守して、安全第一に、周辺環境に十分配慮しながら情報公開に努めていく所存。引き続き、皆さまのご理解とご協力を切に願う。

以上